

UNISON 2004 活動指針
UNISONプロジェクトとその目指すもの

UNISON 2004年度代表
東京大学 中村友哉
慶應大学 成田伸一郎

- 2003年7月 UNISON発足

- 代表: 宇井恭一(東工大)・中村友哉(東大)

- 理事会と学生との架け橋

- 学生アンケート

- 板倉コンペ (Space Glider Competition)

- UNISECワークショップ

- どうしたら学生活動を活発化できるか？

- それぞれの研究室のプロジェクト・研究

- 活動フィールドの違い

- 目指す方向の違い

→ 一つの具体的なゴールを
定めることが難しい

- 新代表：成田伸一郎（慶應大）
- 人生いろいろ，大学もいろいろ！各大学のニーズに合ったプログラムの提供が不可欠
- UNISEC，UNISONが目指すものに合致すれば，個々のプログラムについては自由に



UNISON プロジェクト

- 内容: UNISEC, UNISONの趣旨に合致するもの、アウトリーチ活動や衛星 / ロケットプロジェクトなど
- プロジェクトを学生から募集
- 学生代表で審議し質の高いものを推薦, 理事会の承認を経て正式に採用
- 活動費標準10万円, 申請により増額も可(審査あり)
- WSで中間報告, 総会で最終報告の義務

- 採用予定
 - 母校訪問プロジェクト
 - CanSatキット化プロジェクト
 - 地上局ネットワークプロジェクト
 - CanSat打ち上げ用モデルロケット開発プロジェクト
- 最低1つ, 2004年度プロジェクトを募集！
 - 応募要項はWebに今週中に掲載
 - 締め切りは8月の予定

- 自分の出身校(主に高校)に出向き、学生に対して自分の大学での研究やプロジェクトについて発表する
 - アウトリーチ
 - プレゼンテーションの練習
 - 高校の先生との交渉
 - 難解なことを容易に説明することの難しさ
 - 一般の人の宇宙に対する見方・考え方
 - プロジェクトに対する新たな発見(整理することにより見えてくる)
 - 他人が興味を持ってくれる嬉しさ

- 舟根司 (ふなね・つかさ 東大M1)



- 北海道立旭川東高校出身
- 実施: 2004年6月11日(金)
- 高校との交渉: 1ヶ月くらい前から元担任の先生とコンタクト. その後, UNISECとしてもお願いの手紙を送付.
- 準備に非常に苦勞: **前日は寝てません!**
- 高校生にも分かりやすい講演とは?
- 集まった生徒: 興味を持った20人強
文系の女の子や, 部活前の1年生なども

- 予想以上の反響
 - 質問の嵐(先生まで！)
 - CanSatを勝手に分解
 - クイズでは、一瞬口に出ただけの話
題さえ覚えていて答えられる生徒も！



- アンケート結果
 - 宇宙への興味が増した：
 - 大変 8 少しは 13 変わらない 1
 - CanSatやCubeSatを作りたい：
 - 絶対 1 機会があれば 21
 - 分かりやすかった：
 - とても 14 だいたい 6 あまり 1
 - 参考になったこと：
 - 進路 7 宇宙開発の知識 14 科学技術の知識 7 大学生活 3
- UNISECのホームページにも載っています！
 - <http://www.unisec.jp/patio/almamater/index.html>

- 野尻悠太(のじり・ゆうた 東大M1)



- 静岡県立磐田南高校出身
- 実施:2004年7月17日(土)
- 集まった生徒:理数科の1,2年生全員.約80名.
- 卒業生と語る会の一環. XI-IVの電波を取る予定だったが,高校野球地方大会の開幕戦と重なってしまい断念.



磐田駅前のジュビロ君

- 企業の方と2人で発表
- 強制召集にもかかわらず興味を持った生徒も多数、質問も多く出された。
- デブリ問題を指摘される！



• アンケート結果

– 宇宙への興味が増した:

• 大変 32 少しは 36 変わらない 6 まったく 1

– CanSatやCubeSatを作りたい:

• 絶対 5 機会があれば 62 あまり 6

– 分かりやすかった:

• とても 31 だいたい 42 あまり 3

– 参考になったこと:

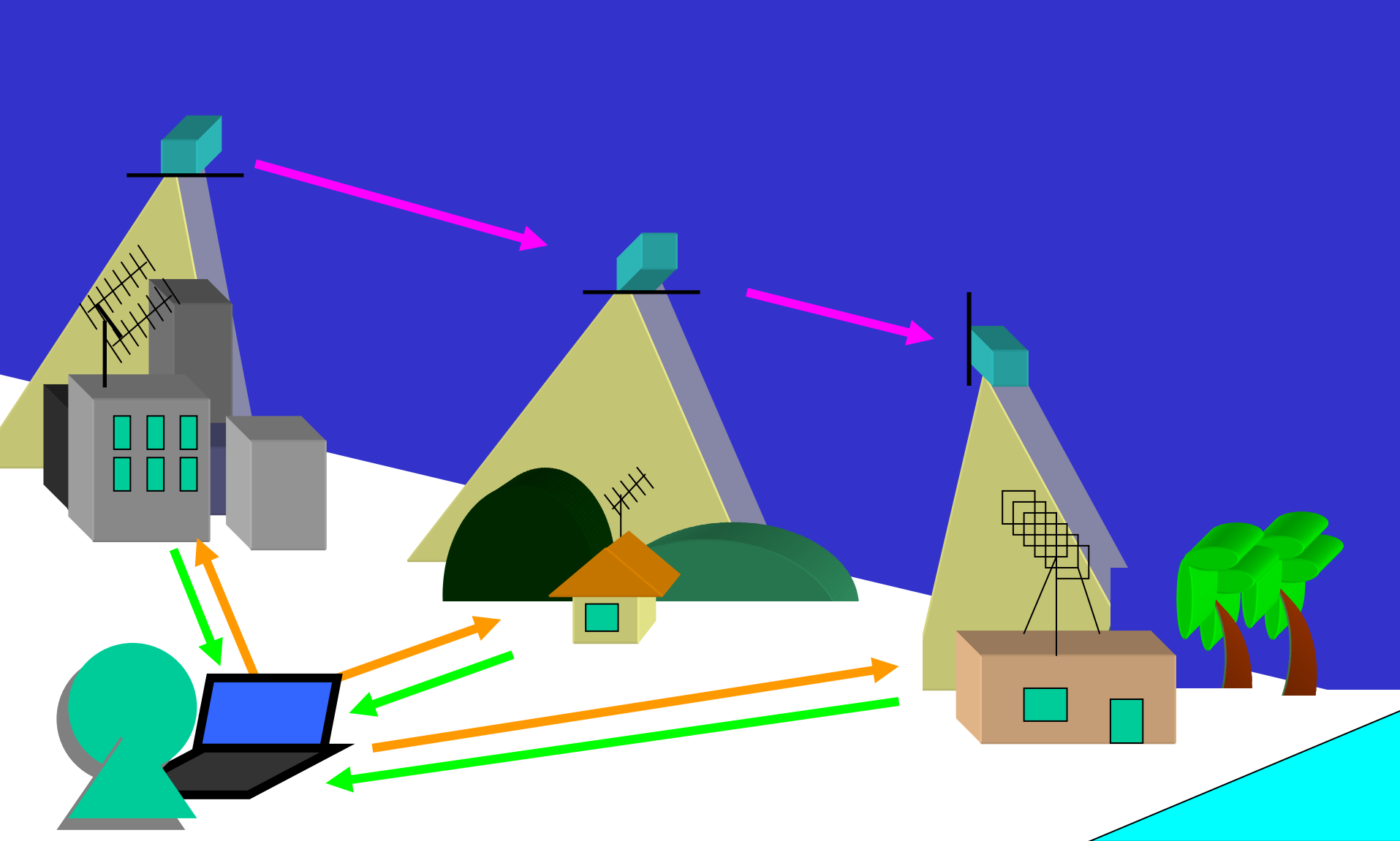
• 進路 15 宇宙開発の知識 53 科学技術の知識 21
大学生活 18



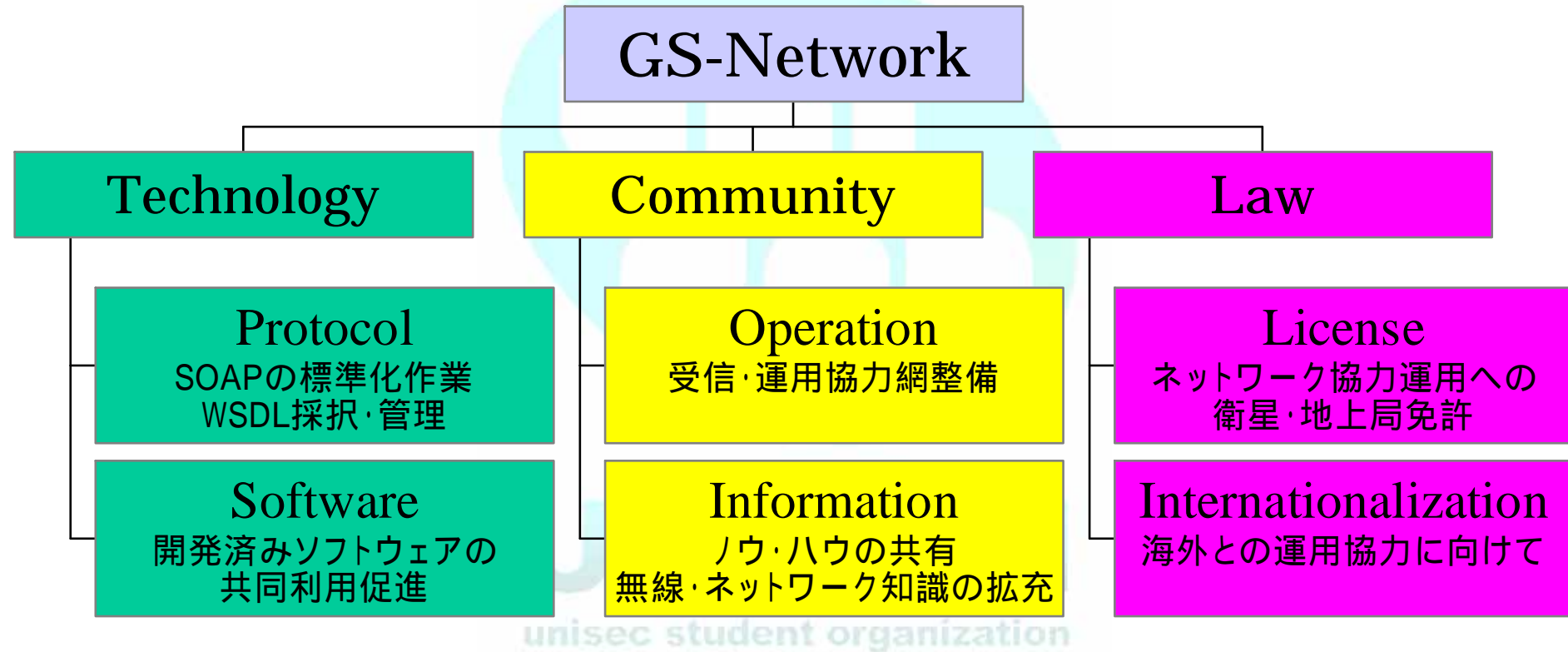
- CanSatをキット化しよう！
 - 新入生のトレーニング用
 - 一般向け電子工作・機械工作キットにも
 - **目標: 秋月電子(秋葉原)に置いてもらう!**
 - 昨年度のワークショップで提案
 - 東大・東工大などで試作することに決定
 - が, 東工大: 多忙のため, 東大: 3・4年生が予定外の行動をしたため, なかなか進んでいないのが現状

- **そこで,**
8~9月に短期集中プログラムにすることに決定！ 1~2週間程度での完成を目指します
- **主な活動場所: UNISON溜まり部屋**
- **できるだけシンプルで, ただし自由度は残して**
– **ミニ四駆(懐かしい!)が目標**
- **みなさん, 手伝ってください! 一緒にCanSatを作りましょう!**

- 地上局ネットワーク (Ground Station Network)
 - 各大学の地上局設備をインターネットにつなぎ、相互遠隔運用を可能に
 - 衛星の可視時間が長くなり、弾力的な運用を実現
 - 2000年ころからすでに構想
 - 東大・東工大・九大・日大など
 - 第三者通信, ITARなど法的問題はアマチュア帯を利用する限りはほぼ解決したと言ってよい
 - 共通プロトコルの策定, システム構築
 - 海外の大学への普及
 - UNISONプロジェクトに取り込み, 進捗を促進



Constituents of GS-Network project



- CanSat打ち上げ用モデルロケット開発支援
 - 現在350ml缶サイズのCanSatを150mの高度まで打ち上げるロケットを開発済み
 - 今後3年かけて、500ml缶サイズのCanSatを500mまで打ち上げるロケットを開発
 - 日本モデルロケット協会学生委員会主導で推進、UNISONプロジェクトとして支援
 - 具体的な内容はこの後の荒木君の講演で

- **新規UNISONプロジェクト募集！**
 - UNISEC , UNISONの活動趣旨に合致するもの
 - 学生が主体となったプロジェクト
 - 研究室にいるだけでは得られない貴重な活動 ,
一つの大学では到底なし得ない大型プロジェクト
など , UNISONは学生の積極的な活動を全力で
支援します！
 - 一人ではできなくても , 仲間がいればきっとできる
はず！ 呼びかけてプロジェクトを立ち上げよう！

- UNISONでは、これらのプロジェクト以外に、以下の活動を予定しています
 - 板倉(あるいは代替の場所)でのCanSatコンペ
 - 宇科連での発表
 - 定期的な学生代表会議
 - ワークショップでの活動報告
 - WebやNews Letterを通じた報告

- あなたの何気ない毎日に，UNISONプロジェクト活動を加えてみませんか？
 - 主役はみなさん一人ひとりです！
私たちではありません！
 - 集まって大きなことをしよう！
 - UNISONを生かさない手はない！

UNITE, STUDENTS!
ORGANIZE NETWORK!
We are **UNI-SON!**